

# ご使用上の注意

## ご使用上の注意

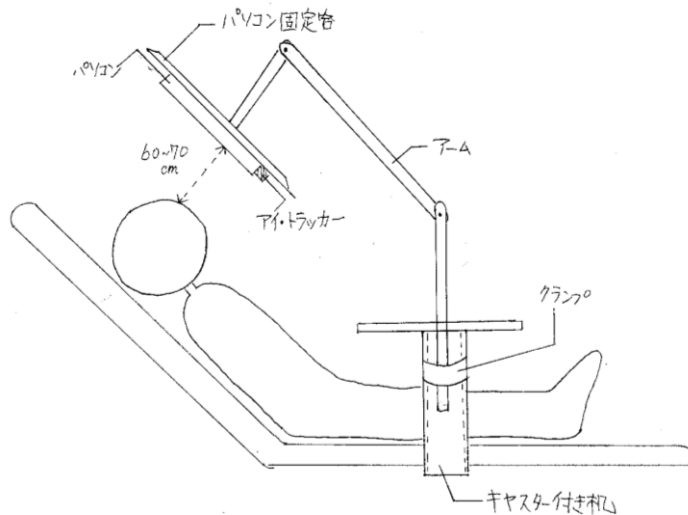
使いすぎには注意し、疲れたら休んだり、やりすぎたら少なくするなど、適切な休憩を取ってください。

# ご使用上の注意

目の疲れを防止するため、使いすぎには注意し、疲れたら休んだり、やりすぎたら利用時間を短くするなど、適切な休憩を取ってください。

## 導入方法

パソコン固定台やアームを利用して、ご利用者様の目の前（約50～70cm）にパソコンを設置する。



## 設定方法

①視線入力装置をパソコンに接続する（USB接続）



②パソコンの電源を押す



③パソコン起動後、自動で『OriHime eye』が起動するのを待つ

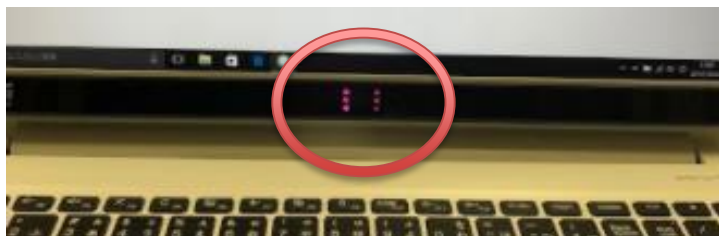
⇒2分半～8分程度待つことがあります。

Windowsの更新が始まると8分以上時間を要することもあります。問題ないのでお待ちいただきたく思います。



## 設定方法（続）

④視線入力装置の赤いランプが点灯しているのを確認する

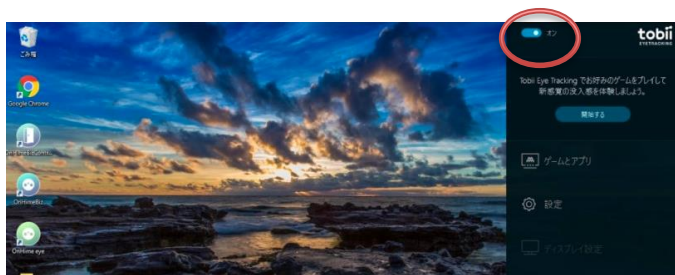


⇒赤く点灯しない場合、パソコン画面右下にある『tobii eyetracking』のバージョンを最新にする。

\*手順1 『tobii eyetracking』をクリック⇒設定⇒説明⇒使用中のeye tracking softwareの『更新を確認する』をクリック

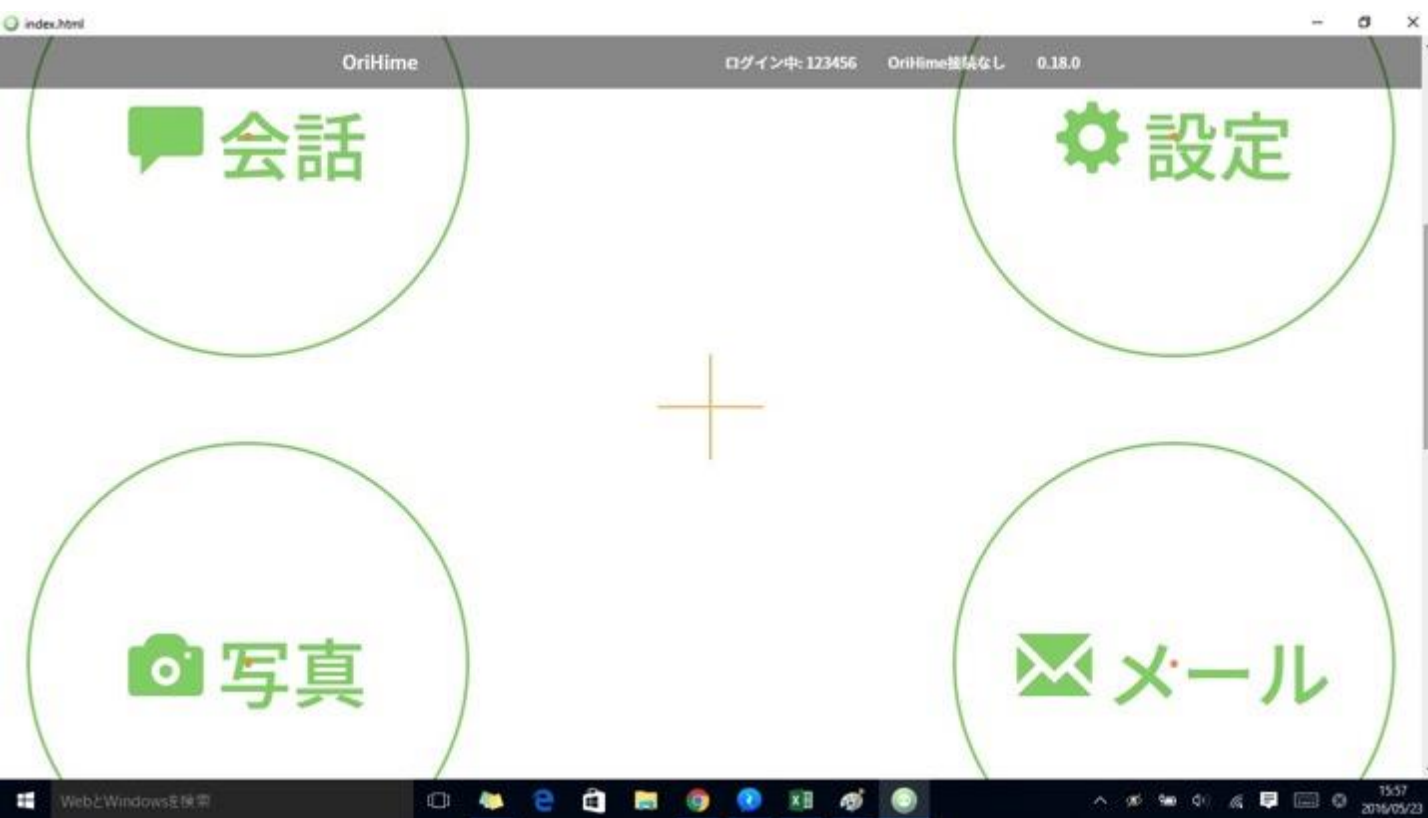


\*手順2 視線入力装置をUSB接続したまま、パソコン画面右下にある『tobii eyetracking』をクリック⇒開いたメニューバー左上の『オン』『オフ』を切り替える。



## 利用方法

アプリケーションを起動した画面です。



「会話」を押すと「デジタル透明文字盤」が現れ、文字の入力や合成音声による発話ができるページが開きます。

「メール」を押すと、メールの送受信ができるページが開きます。

「OriHime」は分身ロボットOriHimeが同じパソコンに接続している場合のみ表示されます。

「リモートOriHime」はOriHimeが異なるパソコンに同じアカウントで接続されている場合にのみ表示されます。これらを押すことで、OriHimeを操作したり、会話を行うことのできるページが開きます。(OriHimeについては別途資料をご参照ください)

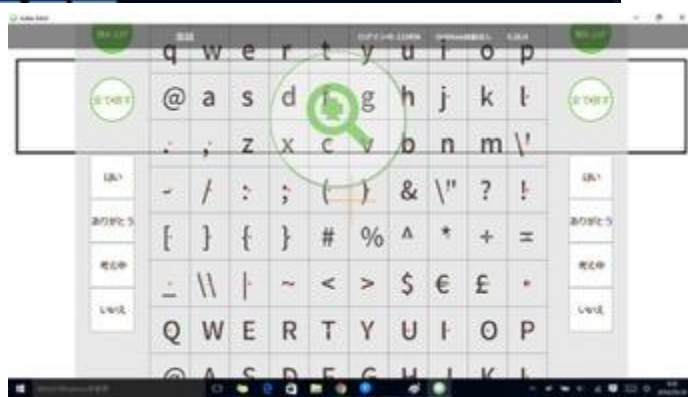
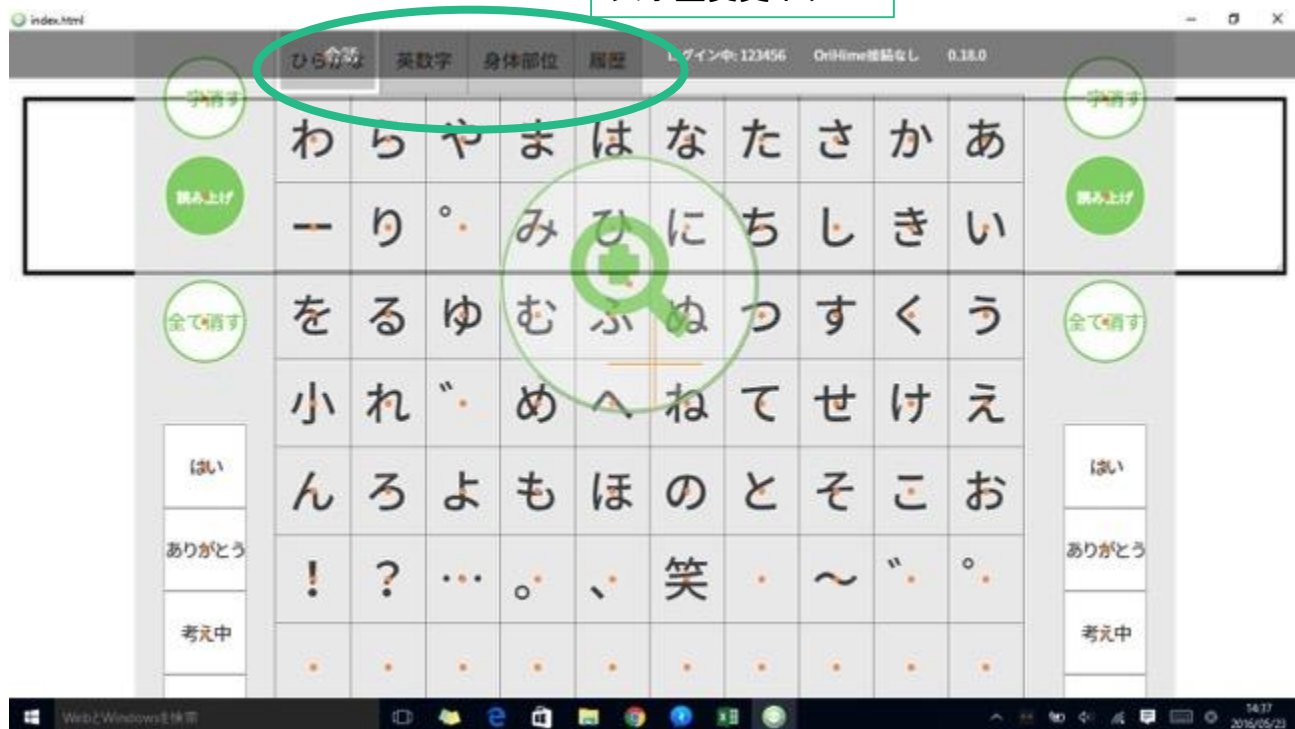
「設定」を押すとカーソルの移動速度やクリックまでの秒数などを設定できるページが開きます。

操作は「視線入力センサのみ」でも「視線入力センサでカーソルを動かす、ワンクリックスイッチで決定する」でも「ショートカットキーのみ」でも利用可能です。

センサにより動作保証しかねるものもございますので、センサは弊社推奨のものをお使いください。

「会話」を押した画面です。

文字盤変更ボタン



「会話」では表示される文字盤を見て、選択することで文字を入力・発話することができます。

利用方法は通常の透明文字盤と同様で、人間の代わりに機械が文字盤を動かしてくれていると考えていただければわかりやすいかと思います。

「ひらがな」タブは50音のひらがな、「英数字」タブはアルファベットと数字、「身体部位」は背中や腕といった身体の部位の名前が選択できます。

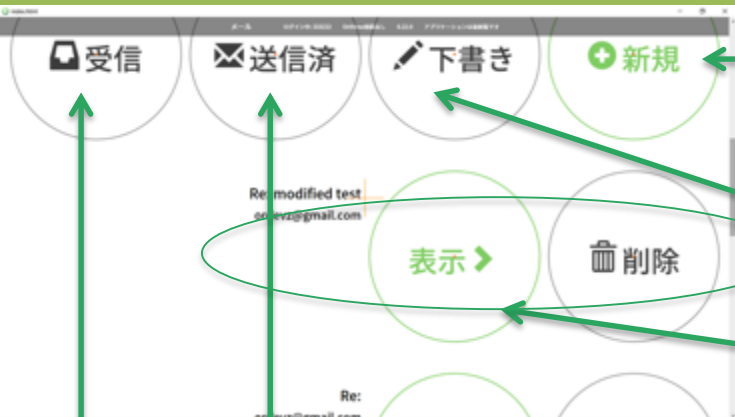
「ひらがな」の文字盤は「あ行」が右から始まるか、左から始まるか好きな方を選ぶことができます。

「履歴」では最近使った言葉を選択することができます。

また、他にも「カスタム」の文字盤をつくることができます。

「カスタム」の文字盤では事前に所定フォーマットで申請することで、任意の6文字の言葉を最大21個配置することができ、ユーザーの方のオリジナル文字盤をつくれます。

「メール」を押した画面です。



メール作成ページに移動し、新しいメールを作成することができます。

下書きフォルダに移動し、下書きのメールを確認することができます。

ここに過去に受け取った受信箱もしくは送信済のメール一覧が表示されていてそれぞれのメールに対して表示をクリックすると本文が見られます。削除をクリックするとメールを削除します。

受信箱に移動し、受け取っているメールを確認することができます。

送信済みフォルダに移動し、過去に送信したメールを確認することができます。

メールの本文です。返信を押すと返信を作成するページに移動し、削除を押すとメールを削除します。



メールの作成画面です。タイトルの編集を押すと、タイトル入力画面に、本文の入力を押すと本文入力画面に移行します。送信を押すとメールを送信します。



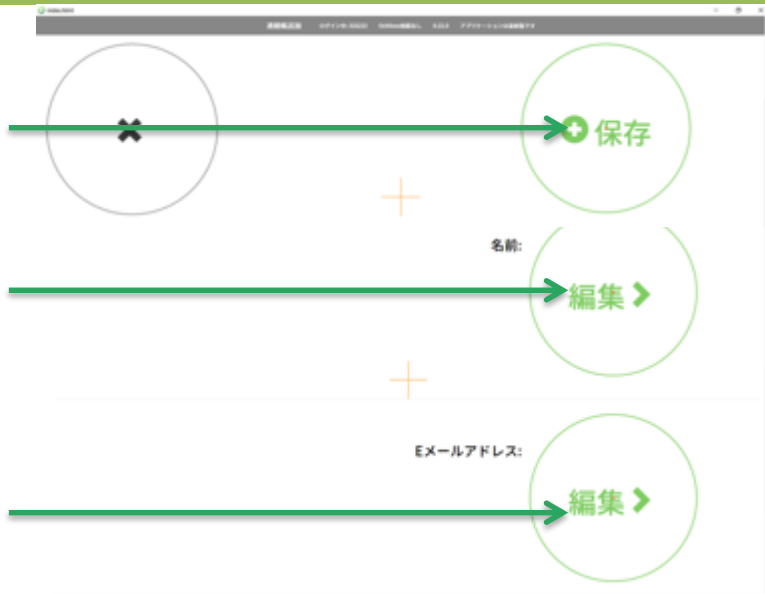
Toには、送信したい相手を指定します。連絡帳の画面に移動し、その中でメールを送りたい相手を指定します。

送りたい相手が連絡帳に入っていない場合、連絡帳+を押して新しい連絡先を追加します。



CCとBCCにはToと同時に送信したい相手を指定します。c.c.とb.c.c.の役割や違いは一般的なメールシステムと同様です。

保存を押すと、入力した名前とメールアドレスを登録します。

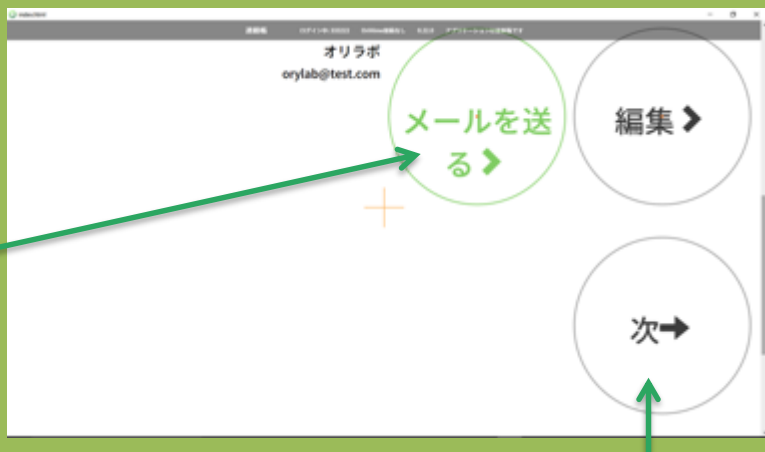


この編集を押して、アドレス帳に登録したい相手の名前を入力します。

この編集を押してアドレス帳に登録したい相手のアドレスを入力します。

連絡帳に登録したあとのページです。

この中からメールを送りたい相手を選び、メールを送るをクリックします。メール作成ページに移動し、新しいメールを作成することができます。



連絡帳に登録したメールアドレスが多数ある場合、次へを押して次の連絡帳ページに移行します。

「メール設定」を行う前に、「メール」を押すとこの「メール設定」画面に遷移します。この画面ではメールの設定を行います。

編集を押すことで  
あいてのメールに表示されるあなた  
の名前を決められます。

編集を押すことで送信・受信設定  
を登録したいメールアドレスを決  
められます。



編集を押すことで受信サーバーの設  
定ができます。受信サーバーの情報  
は、利用したいメールのプロバイ  
ダーにお問い合わせください。

編集を押すことで送信サーバーの設  
定ができます。送信サーバーの情報  
は、利用したいメールのプロバイ  
ダーにお問い合わせください。

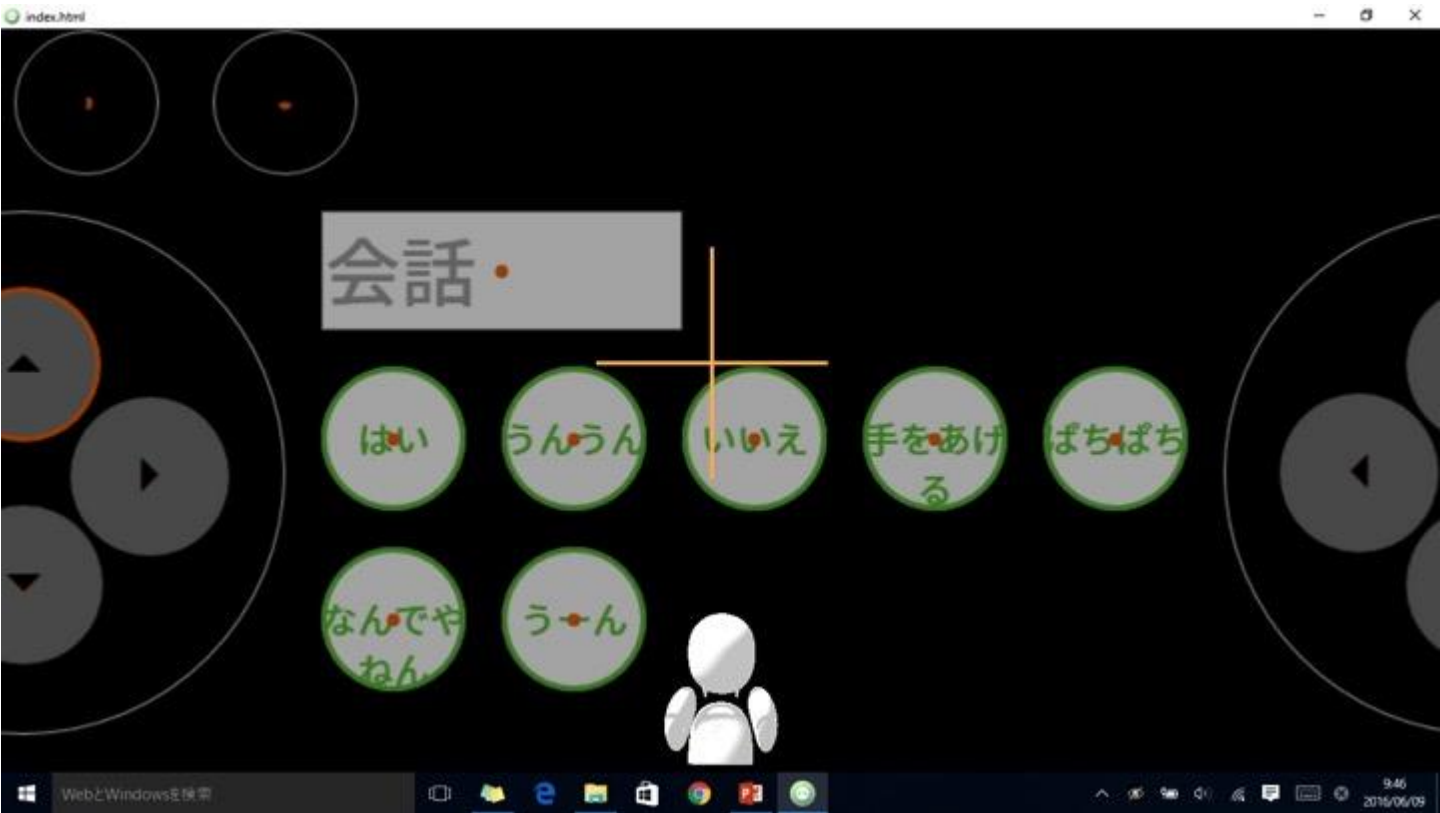


SSL/TLSのオンオフを設定できます。  
どちらにするかは利用したいメー  
ルのプロバイダーに問い合わせて  
ください。





「OriHime」もしくは「リモートOriHime」を押した画面です。



5秒間操作・視線移動がないと自動的に一旦全ての入力を中断する「休憩」モードに入ります。視線を動かしてもOriHimeを動かしたくない時や、疲れた時はこのモードにすることで目を休めることができます。

「一休み」モードは再開を見つめ続けることで解除できます。



会話を押すと、会話ページと同じように入力・発話ができます。

OriHimeは上下左右の矢印を押すとOriHimeも矢印と同じ方向を向き、カメラが移動し、画面に映る景色が変化します。

はい、うんうんなどのアイコンを押すと、OriHimeが所定のジェスチャーを行います。



## 「設定」について

設定ページでは個人の状況や慣れに合わせて、本ソフトウェアを使う上の様々な設定を変更することができます。\*2016年7月7日時点のバージョンのものです

### 文字盤サイズ

初期設定: 3 最大: 10 最小: 1

文字盤の拡大率。

### クリックまでの時間

初期設定: 1.3s 最大: 3s 最小: 0.5s

カーソルを合わせた状態からクリックされるまでの待ち時間。

### 画面移動速度

初期設定: 8 最大: 15 最小: 3

画面が移動するスピード。

### 注視範囲

初期設定: 50 最大: 300 最小: 50

そこを見ている間は動かないゾーンのサイズ。

### 中心位置

初期設定: 中央

移動させる際に基準にする中心点の場所を

中央、右下、中央下、左中央、と9ポイントからえらぶ。

### 中心点表示

初期設定: ON

中心点を十字マークで表示するか。

### ひらがなの並び方

初期設定: 左から

ひらがな文字盤の並び順を左からか右からか選べる。

### 選択モード

初期設定: カーソル

選択をカーソルか中心点に合わさった際にするかの選択。

### スイッチを使う

初期設定: いいえ

スイッチによる決定を行うか。

### 声の種類

初期設定: 女性

声の種類を男性か女性で選ぶ。

### 自動で起動

初期設定: ON

Windowsへのログイン時に自動で起動するかどうか。

## (追加機能) Windows操作機能について

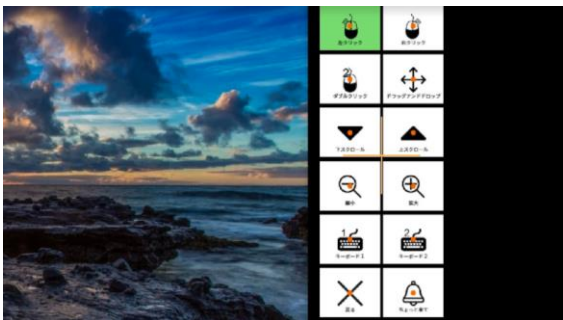
メニュー画面『Windows操作』を押すことで開始します。



デジタル透明文字盤と同じ仕様でクリックしたい目標物を見に行くと、目標物が寄ってくる仕様になっています。



通常モードの場合、常にメニューが表示されています。



動いているデスクトップの左上を数秒見ると、『全画面』になります。

この際、メニューは表示されなくなります。

全画面中に下にスライドさせたい場合は画面下・中央を数秒見ます。

全画面中に上にスライドさせたい場合は画面上・中央を数秒見ます。

またデスクトップが動く画面に戻りたい場合は右上・右下・左下の3カ所のいずれか一カ所を数秒見ます。

Windows操作機能を終了するにはメニュー画面の『戻る』を押します。

## (参考) 視線入力のコツ

1. 目を見開かない。瞬きを意識して行うようにする。

⇒目を見開かなくても十分視線はひろいます。

目が乾かないように瞬きを意識しましょう。

『見つめ続ける』は、目を見開くことではありません。

2. 目をどこまで細めて視線をひろえるか試してみる

⇒細目で見て操作する癖をつけましょう。

3. ぼんやりと画面を見る

4. 瞬きを意識して行う

5. 首は動かさず、目だけ動かす事を心掛ける

6. 目標物だけを見るようにする

⇒移動している画面の情報の全てを目で追うと疲れてしまいます。